

会議名	令和3年度 第1回 稲沢市社会教育委員会・公民館運営審議会
開催日時	令和3年7月2日（金）午前9時25分～午前10時55分
開催場所	稲沢市勤労福祉会館 3階 第2・3会議室
主催	生涯学習課
議題	◎ 委嘱辞令交付・あいさつ・自己紹介 議題 1 委員長・副委員長の選出について 2 令和2年度主要事業報告について 3 令和3年度主要事業に係る取り組みについて 4 その他
資料	別添のとおり
出席者	【委員】 大野芳樹、大室有美、服部みどり、山内晴雄、吉川光彦、渡辺香織、 加島和典、牛嶋みゆき、風間哲郎、河村禎之、岩堀直子 ※欠席…定行加保里、栗林芳彦、伊藤善男 【事務局】 （教育長）恒川武久 （教育部長）荻須正偉 （生涯学習課）課長 佐藤雅之、主幹 江頭弘幸・恒川浩、 社会教育指導員 大津隆、主査 曾根洋一 （スポーツ課）課長 内藤邦将、主幹 加納和佳 （図書館）館長 塚本ゆかり、主幹 榎本賢二・三ツ井裕之 （美術館）館長 尾崎登紀子、主査 中井 弘次
備考	傍聴者なし

【会議概要】

◎ 委嘱状交付

令和3年4月1日から令和5年3月31日までの2年間、新たに委嘱された委員に教育長より委嘱状を交付

◎ あいさつ

（教育長）

- ・平素より市の社会教育全般に渡り御指導・御提言をいただき感謝している。
- ・昨年2月から新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学びの場を奪ってしまっている状況にあるが、速い終息を願っている。
- ・市民のニーズも多岐にわたっており、十分に答えられていないのではないかと自問自答している。
- ・デジタル社会となっていく中で、痛感しているのが漢字のど忘れである。書こうとすると覚えていたはずの漢字が出てこない。
- ・東京大学の研究チームによると情報を記録する際、電子機器を使うよりも紙の手帳に書き込んだ方が速やかかつ深く記憶に刻み込まれるとの分析があった。目的に応じて使い分ける必要があるのではないか。
- ・委員の皆様方には改めて御尽力をいただくようお願い申し上げます。

- ・各委員より名簿順に自己紹介
- ・名簿3番の栗林委員、4番の定行委員及び9番の伊藤委員の3名は欠席
- ・事務局より自己紹介

◎議題

1 委員長・副委員長の選出について

- ・条例、規則等の定めはなく互選による委員長の選出をお願いしたい。
- ・加島委員より山内委員との推薦があり、他の委員についても異議なしで山内委員に委員長をお願いする。
- ・副委員長についても互選となっているが、これまで慣例で委員長による指名を行っており、山内委員長より吉川委員を副委員長に指名。

(委員長あいさつ)

- ・稲沢市には色々と特色があるが若い世代に伝わっていない。
- ・伝統文化について伝え守っていかなければならない。
- ・市に対し調査して提言していくのが役目であると思っている。
- ・特に公民館については他市町村と形態が違う。
- ・稲沢のいいところを活かしていくために皆様のお知恵を拝借したい。

(副委員長あいさつ)

- ・一生懸命やることが一番大事であるという気持ちでやっていきたい。

2 令和2年度主要事業報告について

資料1について各課より説明

(生涯学習課)

- ・説明の前に、祖父江生涯学習センター「ソブエル」、大里西公民館の新築、稲沢公民館の増築、平和町農村環境改善センターの移管、働く婦人の家の閉館について報告。
- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、多くの事業で中止若しくは開催回数を減らした。なお中止した事業については、アスタリスクでお示した。
- ・特筆するものとして、親子ふれあい教室のうち親子でクッキングについて、参加型は中止としたがケーブルテレビで作成手順の映像を配信した。

(スポーツ課)

- ・多くの事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を余儀なくされた。
- ・今後については、感染予防対策を万全にしてできる限り事業を開催していきたい。

(図書館)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止として、滞在時間の短縮、入館人数の制限等を行ったため、年間を通じ全ての数値が減少した。
- ・時期的に開催が可能となった事業については、感染防止対策をしっかり行い参加人数を減らし事前予約制にして実施した。
- ・新たな取り組みとしてエントランスロビーで、小中学校読書感想画コンクールの優秀作品を展示した。

(美術館)

- ・昨年度は荻須作品を2点購入し、合計242点となった。
- ・展覧会事業における特別展として、牛島憲之展を開催した。
- ・教育普及事業として、稲沢市文化振興財団の協力を得て名古屋文理大学においてアート&コンサートを開催した。

(質問・意見特になし)

3 令和3年度主要事業に係る取り組みについて

資料2及び資料3について各課より説明

(生涯学習課)

- ・新型コロナウイルスの影響により今後、事業計画変更の可能性もあるが、方策に沿って進めてまいります。
- ・国から学校運営協議会の設置など学校と地域の一体化の取り組みが求められている。
- ・人材バンクについては、地域人材の発掘に繋がることも予想され、地域活性化の一助に育つものと考えている。課題もあり個人情報について、慎重に取り扱いを進めていく必要がある。
- ・国分寺跡保存整備事業について、所有者が不明等で指定の同意が得られていない土地もある。今後も引き続き地道に交渉を進めていきたい。

(スポーツ課)

- ・2年度実施内容については全て中止となった。地元企業のアスリートに協力いただき、感染防止に対する意識が非常に高く開催時期の調整も困難であった。
- ・3年度実施内容については、オリンピック開催前でもあり日程調整も困難であると思われるが何とか開催したい。
- ・豊田合成(株)所属のクラブチームとは今まで以上に連携を図っていきたい。
- ・地元企業のオリンピック代表内定選手を紹介。

(図書館)

- ・第3次稲沢市子ども読書活動推進計画を基本に、各小中学校への配本サービスやすくすくいなッピーへの情報提供を行っていく。
- ・図書館ボランティアによるおはなし会の再開に向けて準備を進めている。

(美術館)

- ・3年度の実施内容として、荻須高德の生誕120年を記念して特別展の実施を予定しており、社会教育委員の皆様にも来館していただきたい。

※質疑応答

(A委員)

- ・取り組みシートの尾張国分寺跡保存整備事業の中で、課題にある同意の得られていない未指定地について今後どのように対応していくのか。また図書館の第3次計画における目標値を教えてください。

(生涯学習課主幹)

- ・同意の得られていない土地の地権者が3名いる。1名が法定相続人不存在、1名が2次指定に同意する気がない、1名が未相続で市により感情をお持ちでない。法定相続人不存在の件については、弁護士・司法書士に相談中。他の2件についてはよい返事がいただけるようそれぞれ交渉を進めている。

(図書館主幹)

- ・19項目について目標値を設定している。(それぞれの項目についてパーセンテージで目標値を説明)

(B委員)

- ・スポーツ課の振興基金の運営について、令和2年度の実績でどんな種目の選手がいたか教えてください。また要望として図書館の配本サービスについて、調べ学習で使用する新しい資料を購入していただきたい。

(スポーツ課長)

- ・4名の選手について報告(稲沢西小学校 4年生 バドミントン、大里東小学校 6年生 バドミントン、稲沢西小学校 6年生 軟式野球、稲沢西小学校 5年生 水泳)

4 その他

(生涯学習課主幹)

- ・別添資料「令和3年度 稲沢市社会教育委員会 事業予定」について説明。
- ・各課の令和2年度事業概要・年報についてお目通しいただきたい。

<午前10時55分閉会>